

和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	電気情報工学実験	
科目基礎情報							
科目番号		0016		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 3	
開設学科		電気情報工学科		対象学年		4	
開設期		通年		週時間数		3	
教科書/教材		[教科書] 新訂版強電流実験工学, 徳田精 他, 国民科学社、[プリント]電気情報工学実験資料、[参考書] 授業で使用する教科書および図書館にある各種工学専門書					
担当教員		村田 充利 ,謝 孟春 ,山吹 巧一 ,佐久間 敏幸 ,山口 利幸,岡本 和也,竹下 慎二 ,直井 弘之 ,森 徹,岩崎 宣生,岡部 弘佑					
到達目標							
1. 実験手法を知ると共に専門科目に密接した実験課題を通して電気への習熟度を深める。 2. パソコンを介して実測値と数式表現を学習する。 3. 実験報告書の書き方に習熟する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
実験報告書		実験報告書に記載すべき、目的、理論、方法、結果、考察、結論などの項目を第三者の視点に立って書き、結果から理論値との比較、誤差の原因などをデータとともに考察できること。		第三者の始点に立って、実験報告書に記載すべき項目を全て書けること。		実験報告書の体裁を満たさず、第三者の視点に立って、レポートが書けない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		1. 専門科目に密接した実験課題をテーマに実験をする。 2. パソコンを使い実験結果のシミュレーション等の演習を行う。 3. 卒業研究の様子を体験する。					
授業の進め方・方法		前期：6テーマを2週ずつ実施する。A:トランジスタの増幅、B:トランジスタの発振、C:ひずみ波の周波数解析、D:振幅変調・復調、E:作動増幅回路・オペアンプ、F:誘導機・三相インバータ 後期：研究室に配属され、卒業研究実習を行う。					
注意点		実験実習にふさわしくない服装、テキスト忘れの場合は減点する。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション				
		2週	テーマ1 第1週				
		3週	テーマ1 第2週				
		4週	テーマ2 第1週			レポート1提出日	
		5週	テーマ2 第2週				
		6週	テーマ3 第1週			レポート2提出日	
		7週	テーマ3 第2週				
		8週	テーマ4 第1週			レポート3提出日	
	2ndQ	9週	テーマ4 第2週				
		10週	テーマ5 第1週			レポート4提出日	
		11週	テーマ5 第2週				
		12週	テーマ6 第1週			レポート5提出日	
		13週	テーマ6 第2週				
		14週	卒研中間発表の聴講				
		15週	卒研実習説明及び実習班分け			レポート6提出日	
		16週					
後期	3rdQ	1週	卒研実習				
		2週	卒研実習				
		3週	卒研実習				
		4週	卒研実習				
		5週	卒研実習				
		6週	卒研実習				
		7週	卒研実習				
		8週	卒研実習				
	4thQ	9週	卒研実習				
		10週	卒研実習				
		11週	卒研実習				
		12週	卒研実習				
		13週	卒研実習				
		14週	卒研実習				
		15週	卒研実習				
		16週	卒研実習			実習レポートを提出し、合格すること	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週

評価割合			
	レポート	実験態度	合計
総合評価割合	70	30	100
評価点	70	30	100
	0	0	0